

平成 26 年 6 月 27 日
総務省統計局

消費税率引上げによる駆け込み需要の反動が継続して見られた主な品目等
(2014 年 5 月)

	対前年同月 実質増減率 (%)	寄与度 (%)
住居		
設備修繕・維持	-44.4	-1.63
家具・家事用品		
家庭用耐久財		
・炊事用電気器具	-26.7	-0.02
・電気冷蔵庫	-20.9	-0.03
・電気洗濯機	-42.3	-0.04
寝具類		
・ベッド	-27.2	-0.01
保健医療		
保健医療用品・器具		
・コンタクトレンズ	-29.3	-0.03
交通・通信		
交通		
・鉄道通学定期代	-35.2	-0.02
自動車等関係費		
・自動車購入	-29.6	-0.36
教養娯楽		
教養娯楽用品		
・ペットフード	-25.3	-0.05
その他の消費支出		
理美容用品		
・化粧クリーム	-29.1	-0.05
・化粧水	-23.9	-0.03
身の回り用品		
・装身具	-61.1	-0.10
・腕時計	-84.0	-0.12

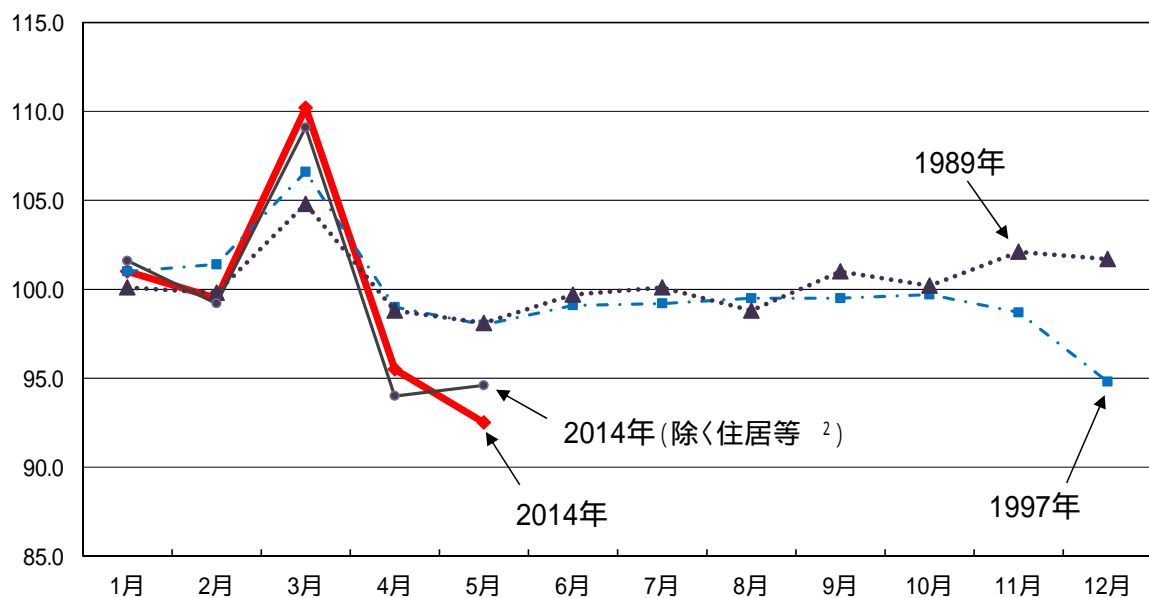
4 月の対前年同月実質増減率がプラスだった品目等

平成 26 年 6 月 27 日
総務省統計局

過去の消費税導入時等との比較

1989 年 4 月：消費税導入（0 % → 3 %）
1997 年 4 月：消費税率引上げ（3 % → 5 %）
2014 年 4 月：消費税率引上げ（5 % → 8 %）

図 消費支出（季節調整済実質指数¹）の推移



1 各年の前年平均を 100 として指数化した。

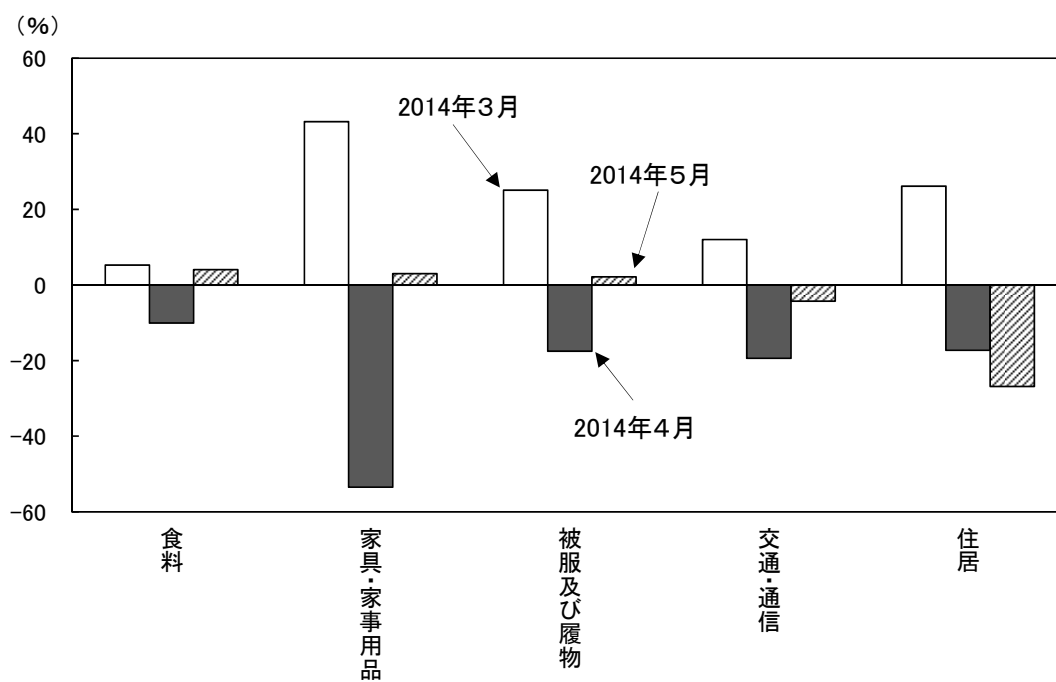
2 「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。

資料：家計調査年報（平成元年・平成 9 年）

平成 26 年 6 月 27 日
総 務 省 統 計 局

主な費目別季節調整済実質指数の対前月変化率

(2014 年 3 月, 4 月及び 5 月)



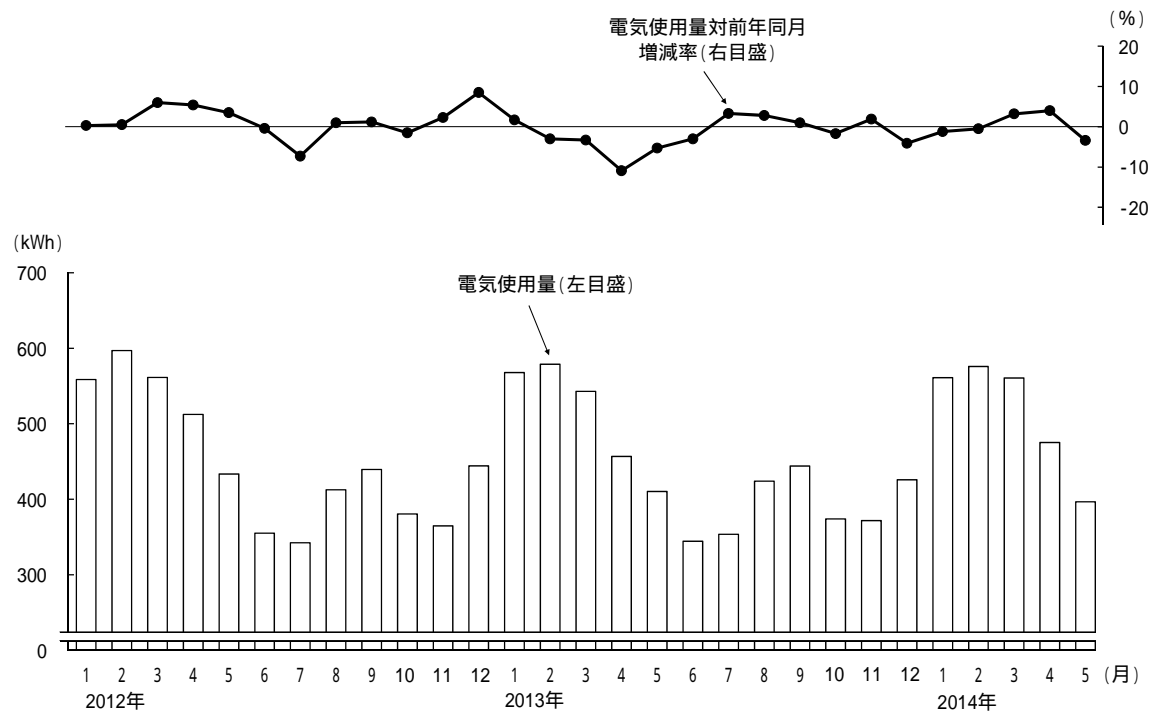
	(%)		
	2014年3月	2014年4月	2014年5月
食料	5.3	-10.1	4.1
家具・家事用品	43.2	-53.5	3.0
被服及び履物	25.1	-17.5	2.2
交通・通信	12.0	-19.4	-4.3
住居	26.1	-17.3	-26.8

平成 26 年 6 月 27 日
総 務 省 統 計 局

電気使用量の推移

2014 年 5 月の 1 世帯当たりの電気使用量は，前年同月に比べ 3.4%の減少となっている。

図表 電気使用量の推移



1世帯当たり電気使用量 (kWh)												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2012年	558.633	596.906	561.377	512.439	433.403	355.084	342.348	412.684	439.541	380.567	364.799	444.148
2013年	567.882	578.731	542.999	456.730	410.380	344.294	353.594	424.095	444.039	373.944	371.685	425.807
2014年	561.188	575.942	560.568	475.115	396.615							

対前年同月増減率 (%)												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2012年	0.3	0.5	6.0	5.4	3.5	-0.4	-7.3	1.0	1.2	-1.5	2.3	8.5
2013年	1.7	-3.0	-3.3	-10.9	-5.3	-3.0	3.3	2.8	1.0	-1.7	1.9	-4.1
2014年	-1.2	-0.5	3.2	4.0	-3.4							

注) 家計調査では，電気代等の支払金額及び使用量については，請求やメーターの検針があった日ではなく，調査世帯が実際に支払った日（口座振替の場合は口座振替日）に家計簿に記入される。したがって，利用（購入）月と支払月に違いがあるため，月次の変化をみる際は注意が必要である。